

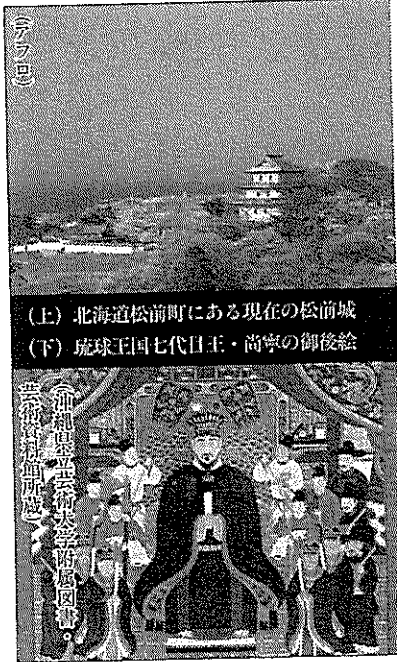
將軍の世紀

やまうちまさゆき
山内昌之

歴史学者・
東京大学名誉教授

「第六回」「三つの外国」と国境線

蝦夷・対馬・琉球から見える
徳川幕府の「地政学的外交戦略」とは――



（上）北海道松前町にある現在の松前城
（下）琉球王国七代国王・尚寧の御後絵

『油小路堂前編』大正印刷所蔵
『油小路堂前編』大正印刷所蔵

一、ウエストファリア条約三百七十年とオットセイ

二〇一八年は、カトリックとプロテスタントが争った三十年戦争の講和、一六四八年のウエストファリア条約から三百七十年に当たる。この年は、三代將軍徳川家光が祖父家康の三十三回忌を迎えて豪華な日光社参を決定した慶安元年に他ならない。ところで、この近世最初の国際条約は、国境で区切られた主権国家間のウエストファリア体制なる国際秩序を成立させた。家康は、国境を意識する主権独立国家日本の原型を幕藩制国家あるいは「幕藩複合国家」として創った点で、神聖ローマ帝国が権威と実体を失い領邦国家に分裂していたドイツ以上に、国のまとまりを作り上げたのではないだろうか。

家康が貿易朱印状を与えた時のオランダは、ハプスブルク家の領土であったが、ウエストファリア条約でスペインからの正式独立を承認された。独立の要因は、対日本貿易で得た独占的な利益から相当な軍事費を捻出できたからという説もある。オランダと、長崎貿易から排除されたスペインやポルトガルとの経済力の差が独立戦争の帰趨を大きく左右したというわけだ（ヨーゼフ・クライナー「長崎街道は『回転ドア』丸山雍成編『長崎街

道』）。

さて家康は、慶長十五年（一六一〇）正月十五日に駿府の城中で、遠国から伺候した風変わりな二人の人物を引き合わせた。その一人は、鷹四郎を献上した松前伊豆守慶広であり、家康は「狄の千嶋の屋形」として紹介した。もう一人は、対馬藩家老の柳川豊前守智永であった。のちに柳川一件と呼ばれる国書改竄をめぐる御家騒動を起こす柳川調興の父である。家康は、松前に「高麗国の近所対馬州の家老」たる柳川を見知らせた。家康は柳川に対して、「北高麗」と「奥狄」とはその境が近いと聞くので、今後はよく会って話し合うべしと命じた。また松前にも、同じことを沙汰した（松前景広『新羅之記録』下巻、同日条。『寛政重修諸家譜』第三、巻百五十四。同第八、巻五百一。『台徳院殿御実紀』巻十二）。

すでに家康は、関ヶ原決戦の前年、慶長四年（一五九九）十一月に大坂城西の丸で慶広と「狄の島の絵図」を見ながら「北高麗の様体」を話題にしたことがある。これは、朝鮮の北にある女真族の本拠地つまり加藤清正が文禄の役で侵攻した「オランカイ」ことマンチュリア（満州）東南部の状況について、蝦夷（蝦夷地）の慶広が独自に情報を得ていると考えたのだろう。二人は、女真

族のヌルハチ（清の太祖）によるマンチュリア統一の動きが朝鮮北部のみならず、蝦夷ひいては日本本土に及ぼす安全保障上の危機を語り合ったはずだ（『新羅之記録』下巻、慶長四年十一月七日条。新田千里『松前家記』一、慶長四年己亥条）。

家康は、関ヶ原合戦の直前に日本にたどり着いた英国人ウィリアム・アダムズ（三浦按針）を重用し、彼から幾何や数学や航海術を学んでいた。当然、新たな幕藩制国家の創設者として、海図を含む「地図製作と国家統制主義的権力とを結びつける方程式」を理解したであろう（メアリ・エリザベス・ベリ「統一権力と地図作成」『地図と絵図の政治文化史』）。松前慶広と蝦夷の地理を議論したとき、家康の脳裏には伝狩野永徳筆の世界及日本図屏風（福井・浄得寺蔵）くらの地理認識はすぐに浮かんだに違いない。家康はオランダ商館長のスペックスに会った時、モルッカにいるオランダ兵士の数、ボルネオ交易とその地の樟脳生産、オランダ本国の香木の有無など、正確な地理認識とからむ質問を矢継早に繰り出して周囲を驚かせた（永積洋子『近世初期の外交』）。

駿府の出会いで面白いのは、柳川智永が家康に向かって漢方薬の海狗腎を勧めたことだ。海狗腎とは、オスの

文藝春秋

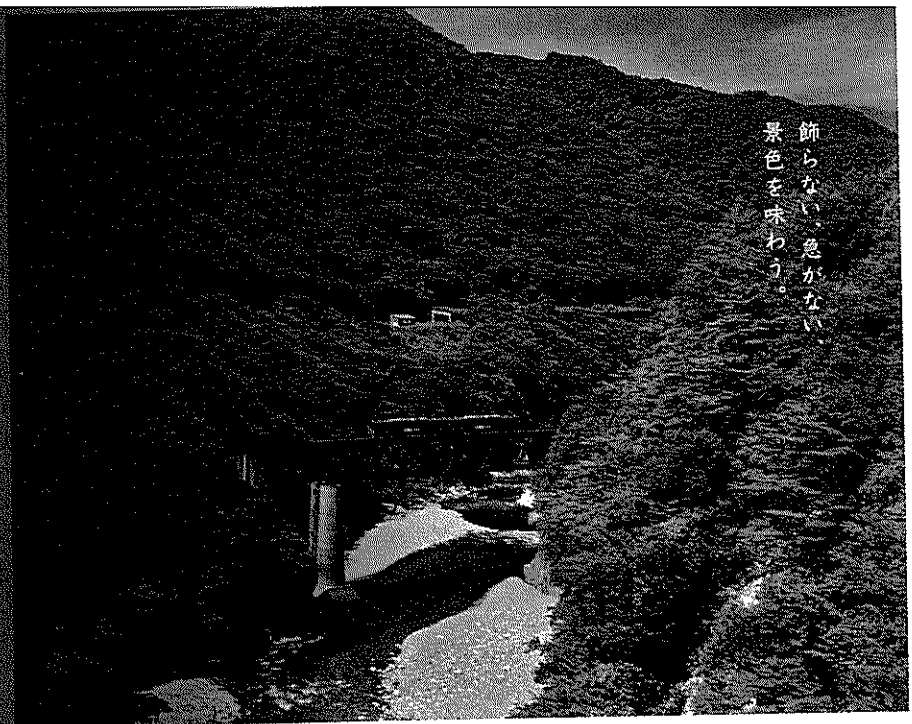
大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
 平成三十年六月一日発行(毎月一回)日発行
 第九十六巻第六号五月十日発行

大特集 日本史の常識が変わった 95th 文藝春秋

今井首相秘書官一問一答/「安倍政権は真実を語れ」石破茂 六月号



大特集 日本史の常識が変わった

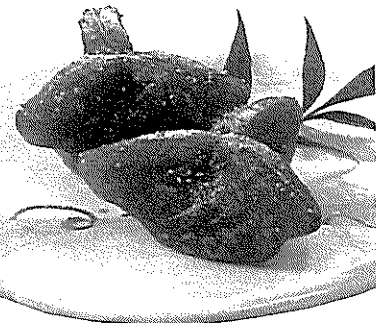


飾らない、逸がない。
 景色を味わう。

福島県下郷町/金津街道と阿賀川

家伝
 ゆべし

変わらぬ、ふるさとの笑顔。
 変わらない、ふるさとの味わい。
 変わらない、ふるさとの味わい。
 みちのくのぬくもりを一緒に添えて...
 お土産は、かんのや「家伝ゆべし」。



まごころに おいしさ咲かせて
 かのや

本社/福島県郡山市西田町大田字宮本田3番地 TEL.0247-62-5678

かんのやオンラインショップ
 家伝ゆべしのご注文はこちらまで

かんのや



全国発送承ります。
 インターネットで (24時間受付) www.yubeshi.co.jp
 お電話で (受付時間9:00-17:00) ☎ 0120-040-141

6
 2018

雑誌07701-06



4910077010689
 00815